

放射線安全フォーラム
第65回放射線防護研究会
「患者さんへの被ばく説明を考える - 医療被ばくの正当化と最適化 -」

開催趣旨

医療被ばくは、意図的に人体に対して放射線が照射されること、正当化及び最適化が担保される限りにおいて線量限度が設定されないこと等の特殊性を踏まえ、患者の支援・介助等を行う家族等における線量拘束値等の設定を除き、明確な規制は導入されていませんでした。放射線診療を受ける者の医療被ばくは、人工的な放射線被ばくの大半を占めており、UNSCEAR の2008年報告書において、我が国の患者一人当たりの放射線診療の検査件数及び被ばく線量が世界各国と比較して高いことが指摘されています。これらの状況を踏まえて、医療法施行規則の一部を改正し、放射線診療を受ける者の医療被ばくの防護を目的として医療機関における診療放射線に係る安全管理のための体制の措置を講じることが規定されました(令和2年4月1日施行)。

放射線診療に関連する業務に従事する者は、業務内容に応じて必要な放射線の安全管理に関する知識を習得することが求められ、その項目の中に「放射線診療の正当化」、「医療被ばくの最適化」、「放射線診療を受ける者への情報提供」等が含まれます。

本研究会において、放射線診療の正当化の考え方や、検査を受ける者への説明について医療現場の対応と、説明を受ける患者の立場から講演いただき、診療用放射線の安全利用について議論いたします。

記

1. 日時、場所

日 時 : 2020年10月17日(土) 13:30~17:00

場 所 : WEB(オンライン)での開催とします。インターネットへの接続が必要です。
快適に参加するために Download の速度は 20 Mbps 以上 をお勧めします。

2. プログラム

司 会 : 藤淵 俊王 放射線安全フォーラム理事 (九州大学大学院 医学研究院)

講 演 : 田波 穰 「放射線被ばくの正当化について」
埼玉県立小児医療センター放射線科 科長

成田 浩人 「医療被ばくの最適化および医療被ばく相談への現場の対応」

一般社団法人 日本放射線治療専門放射線技師認定機構 専務理事

半谷 輝己 「説明を受ける市民の立場から(医療現場にどのような情報を望むか)」

一般社団法人 生活環境メディエーション協会 副代表理事

総合討論

質疑は講師講演後チャットで受け付けます。当日の運営は司会者の指示に従ってくださるよう、よろしくお願いいたします。なお、講演終了後はブレイクアウトコーナーも作る予定ですので、そこで議論できるようにしたいと思います。

※WEB 開催になりますが、本研究会での録画並びに録音等については一切禁止いたします。

3. 参加費:(放射線安全フォーラム会員は無料)

一 般: 2,000円

学 生: 無料(HP 申込時に学校名、学部・学科、大学院の場合、研究科・専攻、下一桁を除いた学生番号を記入してください)

10月9日(金)までに、以下の口座に振込をお願いします。

振込名義が申込者と異なる場合は、必ず振込依頼人欄に申込者の名前を入力してください。

<振込先口座> 三菱UFJ銀行 虎ノ門支店

普通預金口座 0054856 特定非営利活動法人放射線安全フォーラム

4. 参加申込み: ホームページよりお申込み下さい。 <https://www.rsf.or.jp>

事前登録制です。定員は100名を予定しております。参加費は事前振り込みをお願いいたします。

参加される方は必ず受付フォームよりフルネームを記入の上、参加申込みをお願いいたします。申込期日後 ZOOM 招待を申請(登録)されたメールアドレスに発信いたします。

受付期間終了後の参加お問い合わせは、事務局までお願いします。

5. 申込期日: 2020年10月9日(金) 17:00

6. 問 合 せ: mail@rsf.or.jp